その日、
その場所にあるバッハ。

トリフォニーホール・グレイト・ピアニスト・シリーズ 2017/18

# ピョートル・アンデルシェフスキ
# ピアノ・リサイタル

J.S.バッハ：平均律クラヴィーア曲集第2巻より 前奏曲とフーガ（6曲、番号未定）
J.S.バッハ：イギリス組曲第3番 ト短調 BWV808
J.S.バッハ：イギリス組曲第6番 ニ短調 BWV811

*Message from Anderszewski*

昨今の習慣では、コンサートの概要や内容は時間に余裕をもって確定されます。ときには演目が、2～3年前、あるいはそれ以上前に決定されることもあります。つまり演奏はしばしば、数年前になされた判断の帰結として行われています。奏者にとって「演奏行為」は、公演日に先立って、プログラムを提出したその日にすでに始まっているのです。この点を強く意識しながら演奏を聴いていらっしゃる方は、ごく少数かもしれませんが……。

前々から厳密に内容が定められたコンサートにおいて、舞台上の奏者には果たしてどれほどの表現の余地が残されているのでしょうか？

コンサートとは、生の演奏を聴いていただく機会です。そして生演奏においては、その瞬間が生き生きと息づいていなければなりません。それは私にとって何よりも優先すべきことです。だからこそ私には、公演の日が迫ってからプログラムを決定できる環境がきわめて重要です。

私が目指しているのは、生気に満ちた演奏をお届けすることなのです。

——ピョートル・アンデルシェフスキ

©MG de Saint Venant licenced to Virgin Classics

Great Pianists Series 2017/18
**Piotr Anderszewski Piano Recital**

**2018年3月17日［土］** 18:00開演（17:30開場）

料金［全席指定］：S￥6,000・A￥5,000
チョイス券：11/23ヴィルサラーゼ、2018/2/10ムストネン、
3/17アンデルシェフスキ
3公演S席同時購入は15%引（11/22までの販売）★
すみだ学割あり★
★はトリフォニーホールチケットセンターのみ取扱い

◎お申込み・お問合せ
トリフォニーホールチケットセンター 03-5608-1212
トリフォニーホールチケットオンライン www.triphony.com
※オンライン購入には、トリフォニーホール・チケットメンバーズ（無料）へのご登録が必要です。

**すみだトリフォニーホール**
JR＆東京メトロ「錦糸町駅」より徒歩5分／東京スカイツリータウン®より徒歩20分

Photo: Ari Rossner ©Warner Classics

## プレリュードとフーガを聴く日

ついにその日がやってきた。ピョートル・アンデルシェフスキが、バッハの《平均律クラヴィーア曲集》をプログラムに上げるときが。大げさではなく、ようやくそのときがやってきたのだ。

バッハは、アンデルシェフスキの可能性の中心であり、源泉であるとも言えるだろう。東京でも、世界各地でも、《フランス組曲》や《フランス風序曲》、《パルティータ》、《イギリス組曲》を、くり返し演奏してきた。それも全曲ではなく、慎重にレパートリーを絞ってのことだ。バッハのおなじ組曲でも、コンサートの当日に、違う調性の作品に変更したこともあった。

日々は試行錯誤の積み重ねだ。どれだけ作品に入り込んでいるか、取り組んできたか、どれだけの感情を注ぎこむかによって、情況はその都度異なってくる。どうして、現在の心境を予め限定することができるだろう？

さて、そのアンデルシェフスキが、《平均律クラヴィーア曲集》をいずれは演奏したい、と語っていたのはいつのことだったか。《平均律》の第2巻について、はっきりと、つまり目標をもって口にしたのは2015年2月だと記憶している。2001年の終わり頃に着手したものの中断していた仕事だが、「どういうわけか、いまこそ自分がそれを仕上げるべきだと感じる」と語っていた。

それから、3年の歳月がめぐって、同曲集から6つのプレリュードとフーガが抜粋されるわけだが、それがどの曲になるかは、来年の春になるまで、くっきりとは決まらないのだろう。

長年にして新たなこの挑戦に、《イギリス組曲》の2曲——第3番ト短調と第6番ニ短調——が組み合わせられ、リサイタル全体がバッハに集中したものとなる。第6番は1996年にいち早く、第3番は第1番、第5番とともに2014年にそれぞれ録音されてCDにもなっている。これらバッハの初期作に臨んで拓かれた新しい自由をもとに、アンデルシェフスキが晩年作の《平均律》第2巻をどう掘り下げていくのか、そこから、また新たな境地が見出されていくのだろうか。

一般に「平均律」と称されるのは「ほどよく調整された、ちょうどよく宥められた」というのが原意のはずだ。アンデルシェフスキという稀代のバッハ奏者が、そして私たち聴き手が、どのようによりよき調子でこの日に臨めるか、春の訪れが待ち遠しい。

文／青澤隆明（音楽評論）

**ピョートル・アンデルシェフスキ［ピアノ］**
**Piotr Anderszewski, piano**

ベルリン・フィルやシカゴ響、コンセルトヘボウ管と共演し、カーネギーホールやロイヤル・フェスティバル・ホールでリサイタルを開く、同世代中で傑出したピアニストのひとり。著名な映像作家モンサンジョンは、彼のドキュメンタリーを3本撮っている。ワーナー・クラシックスと専属契約を結び、厳選されたレパートリーであるバッハやベートーヴェン、シューマンのCDは数多くの国際的な賞を受賞している。

CD
J.S.バッハ：
イギリス組曲集〜第3、1、5番
ピョートル・アンデルシェフスキ
■録音：2014年 ■WPCS-12882
ワーナーミュージック・ジャパン

**チケットのご案内**

■ 料金［全席指定］：S￥6,000・A￥5,000
チョイス券：
11/23ヴィルサラーゼ、2018/2/10ムストネン、3/17アンデルシェフスキ
3公演S席同時購入は15％引（11/22までの販売）★
すみだ学割あり★
★はトリフォニーホールチケットセンターのみ取扱い

■ ご予約・お問合せ

トリフォニーホールチケットセンター　03-5608-1212
トリフォニーホールチケットオンライン www.triphony.com
※オンライン購入にはトリフォニーホール・チケットメンバーズ（無料）へのご登録が必要です

■ 前売り（1回券のみ）

| | |
|---|---|
| e+（イープラス） | eplus.jp |
| チケットぴあ［Pコード：324-137］ | 0570-02-9999 t.pia.jp |
| ローソンチケット［Lコード：35021］ | 0570-084-003 l-tike.com |
| 東京文化会館チケットサービス | 03-5685-0650 |

●トリフォニーホール託児サービスのご案内　お申込み・お問合せ 0120-500-315［平日10:00-17:00］
小学館集英社プロダクション総合保育サービスHAS（ハズ）※ムストネンは除く

@TriphonyHall　facebook.com/SumidaTriphonyHall

■ エリソ・ヴィルサラーゼ＆新日本フィル
2017年11月23日（木・祝）15：00開演／S¥7,500・A¥6,500
モーツァルト：ピアノ協奏曲第15番
ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第2番
ショパン：ピアノ協奏曲第1番
アレクサンダー・ルーディン［指揮］

©堀田力丸

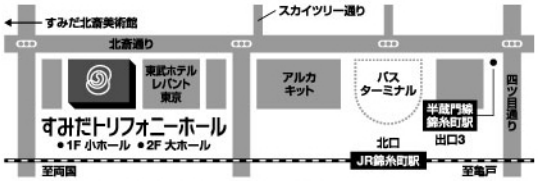
■ オリ・ムストネン ピアノ・リサイタル
2018年2月10日（土）14：00開演
シューマン：子供の情景
プロコフィエフ：ピアノ・ソナタ第8番《戦争ソナタ》
ベートーヴェン：ヴラニツキーのバレエ《森のおとめ》のロシア舞曲の主題による12の変奏曲
ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ 第23番《熱情》
S¥6,000・A¥5,000・学生¥3,000
主催：パシフィック・コンサート・マネジメント 03-3552-3831

©Outi Montonen

主催・企画：すみだトリフォニーホール
招聘制作：KAJIMOTO

平成29年度文化庁 劇場・音楽堂等活性化事業 文化庁

※都合により公演内容の一部が変更となる場合がございます。
※未就学児のご入場はご遠慮下さい。




JR＆東京メトロ「錦糸町駅」より徒歩5分
東京スカイツリータウン®より徒歩20分

**すみだトリフォニーホール**